

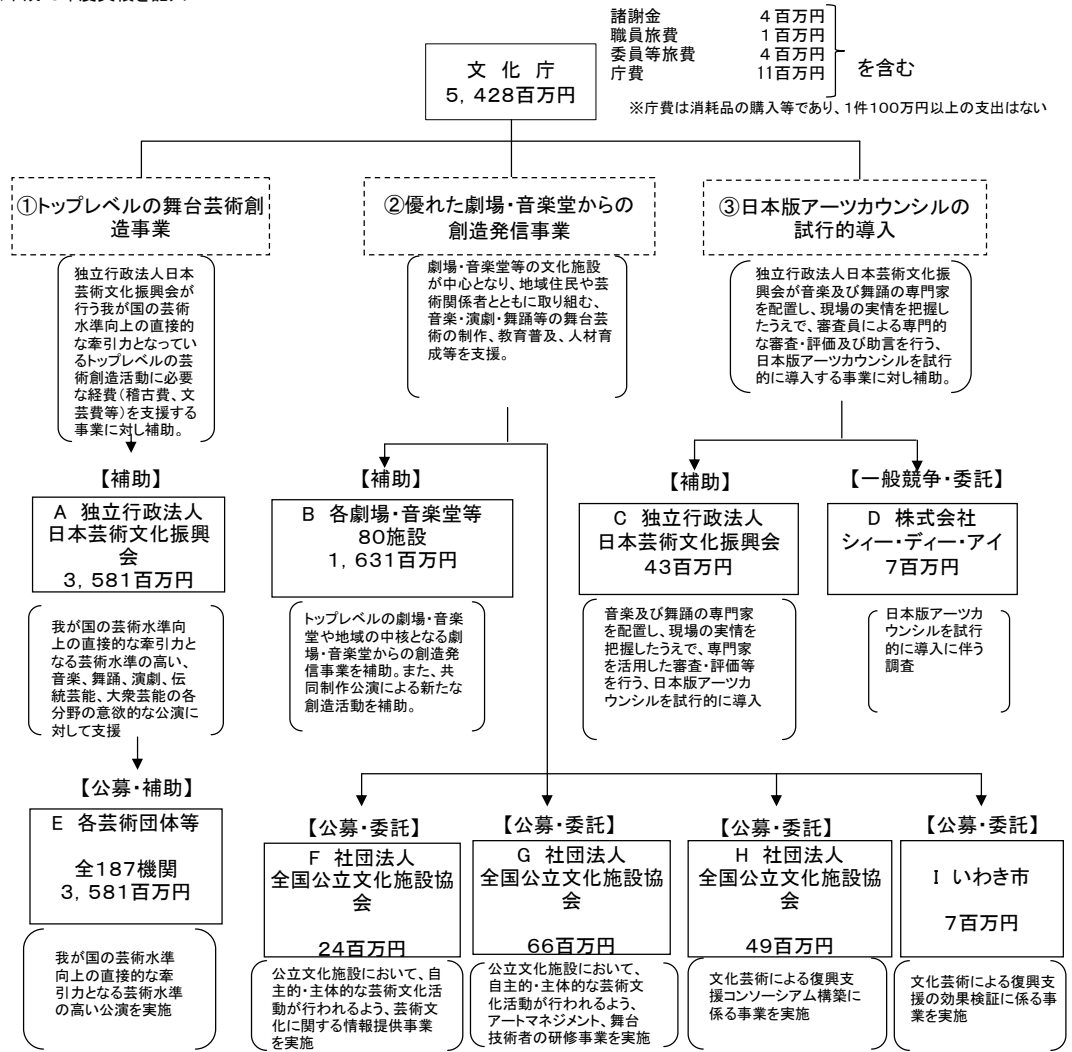
平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	舞台芸術創造力向上・発信プラン		担当部局庁	文化庁		作成責任者	芸術文化課長 舟橋 徹 伝統文化課長 湊屋 治夫		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	文化庁芸術文化課 文化財部伝統文化課					
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-1 芸術文化の振興					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第25条		関係する計画、 通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)	<p>①トップレベルの舞台芸術創造事業 トップレベルの芸術団体による舞台芸術の創造を重点的に支援することにより、我が国の舞台芸術水準の飛躍的向上を図り、その成果を広く国民が享受できる環境を醸成し、「文化芸術立国」の推進に資する。</p> <p>②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 トップレベルの劇場・音楽堂や地域の中核となる劇場・音楽堂からの創造発信活動を支援することにより、我が国の舞台芸術の水準の更なる向上を図り、その成果を広く国民が享受できる環境を醸成し、「文化芸術立国」の実現に資する。</p> <p>③日本版アーツカウンシルの試行的導入 文化芸術への支援策をより有効に機能させるため、(独)日本芸術文化振興会における専門家による審査、事後評価、調査研究機能を大幅に強化し、諸外国のアーツカウンシルに相当する新たな仕組みを導入して、PDCAサイクルの確立を目指す。</p>								
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	<p>①トップレベルの舞台芸術創造事業 独立行政法人日本芸術文化振興会が行う我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となっているトップレベルの芸術創造活動に必要な経費(稽古費、文芸費等)を支援する事業に対し補助する。〔事業費補助〕</p> <p>②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 トップレベルの劇場・音楽堂や地域の中核となる劇場・音楽堂からの創造発信事業を補助することにより、文化芸術活動の活性化と地域住民の鑑賞機会の充実を図るとともに、我が国の文化芸術の水準の向上を図るため、劇場・音楽堂等の文化施設が中心となり、地域住民や芸術関係者等とともに取り組む、音楽・演劇・舞踊等の舞台芸術の制作、教育普及、人材育成等を支援。採択施設数 80施設 [1/2補助]</p> <p>③日本版アーツカウンシルの試行的導入 専門家(プログラムディレクター、プログラムオフィサー)を配置し、審査、事後評価、調査研究機能を大幅に強化するとともに、助成事業の成果や課題を調査分析し、助成事業の改善につなげる仕組みを導入する。(平成23年度においては、「トップレベルの舞台芸術創造事業」の中の音楽・舞踊分野において実施)また、本格的導入に向けた参考とするため、諸外国のアーツカウンシルの仕組みについて調査研究を実施(5カ国)</p>								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算		1,600	5,533	4,713			
		補正予算		△ 340	-	-			
		繰越し等		-	-	-			
		計		1,260	5,533	4,713	3,407		
	執行額			1,128	5,428				
執行率 (%)			89.5%	98.1%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)		
	①トップレベルの舞台芸術創造事業 芸術水準の向上を定量的に指標化することは非常に困難である。 【参考指標】 我が国の主要芸術団体における自主公演数		成果実績 公演数		3,100	3,438	平成23年度の調査結果は取りまとまっていない		
			達成度	%					
	【参考】 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 採択団体における入場者数及び平均入場率		成果実績 入場者数			1,463,176	2,525,586		
		達成度	平均入場率		75.0%	75.4%	80.0%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	①トップレベルの舞台芸術創造事業 年間事業支援型:団体数 事業単位支援型:事業数		活動実績 (当初見込み) 団体・事業				48団体・204事業 (47団体・238事業)	(13団体・285事業)	
	②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 優れた舞台芸術の創造・発信を自ら行うことができる劇場・音楽堂の数		活動実績 (当初見込み) 施設数		-	92	80	-	
				( )	( 81 )	( 71 )			
単位当たり コスト	①トップレベルの舞台芸術創造事業 17.8(百万円/支援1件あたり) ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 22.4(百万円/1施設)		算出根拠	①トップレベルの舞台芸術創造事業 平成23年度実績額 3,584百万円/201件 ※年間事業支援型、事業単位支援型ともに1支援を1件として合算 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 単位当たりコスト=事業実績額(1,790百万円)/施設数(80)					
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	6百万円	0.2百万円						
	職員旅費	3百万円	0.5百万円						
	委員等旅費	6百万円	0.3百万円						
	庁費	14百万円	0.1百万円						
	文化芸術振興委託費	82百万円	113百万円						
	文化芸術振興費補助金	4,602百万円	3,294百万円	「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」の廃止による減					
計	4,713百万円	3,407百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	①トップレベルの舞台芸術創造事業、②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 内閣府の世論調査では、文化芸術の体験・活動の重要性を肯定する者は88.4%にのぼり、その元となる文化芸術活動を行う芸術団体や劇場・音楽堂の水準向上は、広く国民のニーズがあると言え、第三次基本方針においても、重点的に取り組むべき施策としてあげられている。芸術活動については、準備に多くのコスト・期間を要し、一回の上演に収容可能な観客数や回数に限界があるなど、構造的に収支バランスがとりにくく、市場原理に委ねられない。 ③日本版アーツカウンシルの試行的導入 また、諸外国のアーツカウンシルに相当する新たな仕組みの導入についても第三次基本方針において重点的に取り組むべき施策としてあげられている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	①トップレベルの舞台芸術創造事業 第三次基本方針に基づき、平成23年度より、公演以前に要する経費に補助の対象を限定し、公演本番にかかる会場費、出演料等は芸術団体が入場料収入等によって負担する補助制度に変更した。 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 支出先(補助対象施設)の選定にあたっては、外部の有識者からなる協力者会議において選定しており、妥当である。また、劇場・音楽堂が取り組む舞台芸術に関する公演等の経費について、1/2以内を補助しており、受益者との負担関係は妥当である。 ③日本版アーツカウンシルの試行的導入 委託先の選定については、競争性を確保するため、一般競争入札をとっており、外部有識者等で構成する委員により複数の項目を点数化して評価し、上位の点数を獲得した者を委託先に決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	①トップレベルの舞台芸術創造事業 芸術団体の収入確保へのインセンティブの向上を図るうえで、従来の収支差補助に比べ、実効性が高い。 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 実績報告書の精査を行うとともに、別途事業完了報告書を提出させ事後評価を行うなど、適正な執行に努めている。 また、委託事業を通じてアートマネジメントやリスクマネジメントのハンドブックを作成し、全国の文化施設で活用されている。 ③調査研究結果については、文化芸術への助成の在り方を検討するにあたり、幅広く活用されている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>①トップレベルの舞台芸術創造事業、③日本版アーツカウンシルの試行的導入 ①については、芸術団体のインセンティブがより働くよう支援制度を見直しており、③の試行的導入とあわせて、その成果を検証しながら、事業を展開する必要がある。 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 ②については、公演の内容・質について申請書と相違ないことを確認するとともに、チラシ等の提出を義務付け、実施内容の把握を担保している。また、収支報告と証拠書類等の突合を行い、国庫支出の適確性を確保している。今後は③の試行的導入と併せて、その成果を検証しながら事業を展開する必要がある。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、トップレベルの芸術団体、劇場・音楽堂や地域の中核となる劇場・音楽堂の創造活動等を支援する補助事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見: 本事業のうち劇場・音楽堂に対する補助は、採択件数が当初計画より下回ったことなどを理由に平成22年度において不用(補正及び決算上)が生じていたが、平成23年度においては執行率について改善がみられた。しかしながら、単価・箇所数に予算との乖離がみられることなどから、積算単価を再検証するなど引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		<p>本事業における劇場・音楽堂に対する支援事業に関しては、平成24年度をもって廃止する。 なお、平成25年度概算要求においては、「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定)や「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」(平成24年6月27日法律第49号)を踏まえ、コスト削減に努めつつ、劇場、音楽堂等の活性化のための新たな支援スキームを構築し、新規事業として要求することとしている。 また、芸術団体向け補助事業については、職員旅費についてより予算執行の効率化を図ることとし、概算要求に▲0.7百万円反映した。</p>	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
【文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)】 <a href="http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html">http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</a>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0449	平成23年行政事業レビュー	0367

※平成23年度実績を記入



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.独立行政法人 日本芸術文化振興会			F.社団法人 全国公立文化施設協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	トップレベルの舞台芸術創造事業助成金	3,552	謝金・旅費	講師謝金、交通費等	13
人件費	アルバイト	7	諸経費	通信運搬費、印刷費、消耗品等	7
諸謝金	審査謝金	5	人件費	賃金	4
印刷製本費	審査資料印刷費等	4			
旅費	委員等旅費、執行調査旅費	3			
その他	募集広告、説明会会場借料、システム改修等	10			
計		3,581	計		24
B.公益財団法人 びわ湖ホール			G.社団法人 全国公立文化施設協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
公演費	自主制作公演及び共同制作公演等に係る経費	161	謝金・旅費	講師謝金、交通費等	30
			諸経費	通信運搬費、印刷費、消耗品等	21
			人件費	賃金	15
計		161	計		66
C.独立行政法人 日本芸術文化振興会			H.社団法人 全国公立文化施設協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	PD・POへの謝金等	32	役務費	被災地の芸術活動支援、ホームページの作成等	26
旅費	調査旅費	5	人件費	賃金	9
図書費	書籍購入費	5	謝金・旅費	会議出席謝金、交通費等	7
その他	審査資料印刷費等	1	諸経費	通信運搬費、借損料、消耗品費等	7
計		43	計		49
D.株式会社 シー・ディー・アイ			I.いわき市		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査員に対する賃金	3	人件費	賃金	7
事業費	諸謝金、旅費、消耗品費、報告書の印刷製本に係る雑役務費等	3			
一般管理費		1			
計		7	計		7
E.公益財団法人 東京都交響楽団					
費目	使途	金額 (百万円)			
公演費	都響スペシャル 7月公演	88			
計		88			

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 日本芸術文化振興会	我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の芸術創造活動に対して支援	3,581	-	-

※補助事業

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 びわ湖ホール	ワーグナー作曲 歌劇「タンホイザー」全3幕	101	-	-
2	公益財団法人 兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター	佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 喜歌劇「こうもり」	65	-	-
3	公益財団法人 びわ湖ホール	沼尻竜典オペラセレクションモーツァルト作曲歌劇「ドン・ジョヴァンニ」(全2幕)	61	-	-
4	公益財団法人 せたがや文化財団	現在能楽集VI	60	-	-
5	公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団	彩の国シェイクスピア・シリーズ第24弾「アントニーとクレオパトラ」	60	-	-
6	財団法人 静岡県舞台芸術センター	①SPAC秋のシーズン2011 ②ふじのくににせせかい演劇祭2011	60	-	-
7	財団法人 新潟市芸術文化振興財団	NoismI「OTHERLAND」	59	-	-
8	財団法人 石川県音楽文化振興事業団	オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演	57	-	-
9	公益財団法人 神奈川芸術文化財団	太平洋序曲	48	-	-
10	公益財団法人東京都歴史文化財団グループ 代表団体 公益財団法人東京都歴史文化財団	東京文化会館 新進音楽家の育成事業 “TOKYO BUNKA CHALLENGE PROGRAM”	40	-	-

※補助事業

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 日本芸術文化振興会	音楽及び舞踊の専門家を配置し、現場の実情を把握したうえで、専門家を活用した審査・評価等を行う、日本版アーツカウンシルを試行的に導入。	43	-	-

※補助事業

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社シー・ディー・アイ	諸外国のアーツカウンシルに関する調査研究	7	4	81.1%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 東京都交響楽団	都響スペシャル 7月公演	88	—	—
2	社団法人 大阪フィルハーモニー協会	大阪フィルハーモニー交響楽団 定期演奏会	66	—	—
3	財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団	東京定期演奏会 第629回～第638回	64	—	—
4	公益財団法人 札幌交響楽団	札幌交響楽団 第538回～第547回定期演奏会	62	—	—
5	財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィルハーモニー交響楽団 定期演奏会<トリフォニーシリーズ> (全16回)	60	—	—
6	財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団	定期演奏会 芸術劇場シリーズ	55	—	—
7	財団法人 読売日本交響楽団	読売日本交響楽団 第503回～第513回 定期演奏会	54	—	—
8	財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団(京都市交響楽団)	京都市交響楽団 定期演奏会(第545回～555回)	47	—	—
9	財団法人 読売日本交響楽団	読売日本交響楽団 第1回～第11回 オペラシティ名曲シリーズ	45	—	—
10	財団法人 群馬交響楽団	群馬交響楽団 定期演奏会	44	—	—

※補助事業

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 全国公立文化施設協会	地域の劇場・音楽堂等の活性化による地域文化力の発信・交流の推進(芸術文化情報提供事業)	24	企画競争	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 全国公立文化施設協会	地域の劇場・音楽堂等の活性化による地域文化力の発信・交流の推進(研修事業)	66	企画競争	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 全国公立文化施設協会	文化芸術による復興支援コンソーシアム構築に係る事業	49	企画競争	—

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いわき市	文化芸術による復興支援効果検証事業	7	企画競争	—